

第2回体力・運動能力向上の場分科会における意見

財源について

- ・国庫補助がなくなるのであれば、市が出せばよいのではないかと
- ・この事業についてお金を出すことに反対する市民はいないのではないかと

目的について

- ・東日本大震災の被災者支援という目的で出来た施設だったとしても、子どもの体力が落ちている現状があるのであれば、目的を変更して存続すればよいのではないかと

ニーズについて

- ・ペップキッズこおりやまの利用者は年間30万人おり、他の遊び場4つの合計利用者より多いことから、市民のニーズがあると思う
- ・（現在ペップキッズ郡山が予約制であることを受けて）ペップキッズ郡山の利用ができなかった人へ他の遊び場を利用してもらう工夫が必要であると思う

有料化について

- ・年間30万人も利用しているということならば、利用者側としてもペップキッズ郡山やその他公園等を支えていきたい気持ちはあると思う
- ・利用料金の金額等についてアンケートを取ってみることはどうか
- ・有料化には反対であったが、運営法人の話を聞いて有料化も仕方ないのかという気持ちも芽生えた
- ・有料化するならばリピーターの負担軽減（月間パスポートなど）を考える必要もあるのではないかと
- ・有料化した際に、運営法人への寄附が減ってしまうのではないかと
- ・スタッフの雇用を守り、処遇改善の観点から、有料化は仕方ないのかと思っている

その他

- ・ペップキッズ郡山の予約方法について
- ・市内4か所の子どもの遊び場のあり方について